

経営協議会議事要録（第88回）

日 時：令和6年3月18日(月) 15時00分から16時46分

場 所：岩手大学事務局第一会議室

出席者：磯 田 文 雄 委員（花園大学 学長）
小 野 昭 男 委員（小野食品(株)代表取締役）
榎 野 信 治 委員（(株)テレビ岩手代表取締役会長）
國 井 秀 子 委員（芝浦工業大学客員教授）
澤 藤 隆 一 委員（一祐会電気電子情報科会東京支部相談役）
千 田 ゆきえ 委員（(株)千田精密工業代表取締役）
小 川 智 委員（学長）
藤 代 博 之 委員（理事（総務・戦略企画担当）・副学長）
喜 多 一 美 委員（理事（教育・学生担当）・副学長）
水 野 雅 裕 委員（理事（研究・地域連携担当）・副学長）
吉 澤 和 弘 委員（理事（経営戦略・DX推進担当））
加 藤 裕 一 委員（理事（経営企画担当））
欠席者：田 口 幸 雄 委員（(株)岩手銀行代表取締役会長）
八重樫 幸 治 委員（岩手県副知事）

陪席者：小藤田久義(副学長(総合科学研究科・生涯学習担当))、山本欣郎(副学長(情報統括・広報・図書館担当))、松岡洋子(副学長(国際連携担当))、海妻径子(副学長(ダイバーシティ・環境マネジメント担当))、宮川洋一(副学長(数理・データサイエンス・AI教育担当))、林明夫(副学長(財務・労務担当))、横山英信(人文社会科学部長)、境野直樹(教育学部長)、伊藤菊一(農学部長)、木村賢一(連合農学研究科長)、村上賢二(獣医学研究科長)、川崎宏(学務部長)、濱田秀樹(研究・地域連携部長)、小野寺学(法人運営部長)

議事に先立ち、前回議事要録について原案のとおり確定することとした。

議 題

1. 国立大学法人岩手大学役員等体制について

学長から、国立大学法人岩手大学役員等体制について諮る旨が述べられ、次いで資料に基づき、副学長5名を令和6年4月1日から令和8年3月31日の2年間選任することの提案があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

また、学長から、令和6年4月1日からの理事5名、監事2名及び経営協議会委員についての報告があった。

2. 令和6年度国立大学法人岩手大学予算案について

学長から、令和6年度国立大学法人岩手大学予算案等について諮る旨が述べられ、次いで、林副

学長・事務局長から、予算編成方針をまとめた「令和6年度学内配分予算（一般会計）の増減の主なポイント」に基づき、法人運営活性化支援分の配分方法、令和5年度予算からの増減内容、収入減と支出増に伴って発生する影響額へ対応するための経費削減案について説明があり、本方針により作成した予算案の提案があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

また、令和7年度の予算編成に向けては、さらなる対応が必要となることが予想されることから、外部資金の更なる増加、基礎的経費及び事業費のさらなる削減（令和6年度10%削減から令和7年20%以上の削減）、間接経費の配分方法の変更の検討等を行っていくことの付言があった。

なお、学長から、本件は3月26日開催の役員会の議を経て、決定する旨の付言があった。

3. 国立大学法人岩手大学旅費規則の一部改正について

学長から、国立大学法人岩手大学旅費規則の一部改正について諮る旨が述べられ、次いで、林副学長・事務局長から、資料に基づき、提案理由と改正案並びに規則制定案等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

なお、学長から、本件は3月26日開催予定の役員会の議を経て決定し、令和6年4月1日から施行する旨の付言があった。

4. その他

なし

報 告

1. ネーミングライツ事業の実施について

林副学長・事務局長から、資料に基づき、理工学部1号館のテクノホールのネーミングライツ事業についての説明があり、ネームプレートデザイン、掲示場所及びスケジュールについて報告があった。

2. 学務関係等報告について

喜多理事・副学長から、資料に基づき、令和6年度入試の実施状況（学部・大学院）及び学生の課外活動について及び学生表彰についての報告があった。

3. その他

なし

意見交換：「地域協創教育について」

学長から、「地域協創教育について」意見交換のテーマに設定した提案理由並びに目的について説明があり、本日は、地域協創教育センター長である喜多理事・副学長から紹介する旨が述べられた。

次いで、喜多理事・副学長から、「地域協創教育について」説明の後、学外委員と種々質疑応答

及び意見交換を行った。

最後に、学長から、当会議を閉会する旨が述べられ、次回は令和6年6月25日（火）15時から経営協議会を、16時40分から学長選考・監察会議を開催することが述べられた。